

助産雑誌 Back Number

◆2014年6月号



特集 母乳不足と補足を考える

健康な正期産児には、基本的に補足の必要はないといわれています。しかし母乳は足りているのか？補足は必要なのか？と迷う場面は多くあります。本特集では、母乳不足と補足について理解を深め、医療者として、悩む母親への適切な支援につなげたいと考えます。

◆2014年5月号



特集 科学的根拠からみなおす助産技術

普段何気なく行なっている助産技術。でもどうしてその手技が必要なのか、どうして効果的なのか、根拠をもって説明できますか？本特集では、妊婦健診や分娩時、緊急時の重要な手技を取り上げ、根拠を理解したうえで実践できるよう、詳しく解説します。

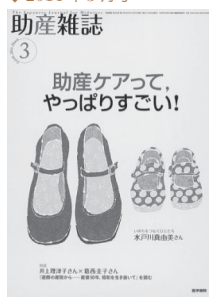
◆2014年4月号



特集 多胎の支援 妊娠中から育児まで

とてもたいへんな多胎の育児。産後うつや虐待予防の観点から取り組みが進められていますが、十分に支援が行き届いているとはいえません。本特集では、保健指導からグループづくり支援まで、妊娠中から育児期を通した助産師のかかりについて取り上げます。

◆2014年3月号



特集 助産ケアって、やっぱりすごい！

妊娠中の助産師のかかわりかたによって、妊婦さんのリスクや、分娩の結果が変化するようです。助産所分娩と病院分娩を比較したデータを紹介し、育児への影響も見据えつつ、現在語ることのできる範囲内で助産師のかかわりの効果を明らかにすることを目指します。

◆2014年2月号



特集 帝王切開のお産をケアしよう

帝王切開を希望する人がいる一方で、経陰分娩ができなかったことで何年も悩みを抱える母親もいます。帝王切開率が19%のいま、帝王切開を単なる医療処置ではなく1つのお産と捉え、母親と赤ちゃんのために助産師だからこそできるケアを本特集で考えてみます。

◆2014年1月号



特集 HTLV-1と母乳育児

妊娠をきっかけにHTLV-1キャリアであることが判明した女性は、驚きとともに、恐れや不安など、多くの悩みを抱えます。本特集では、とくに栄養方法の選択を中心に、HTLV-1キャリアの女性を支えるために助産師が知っておきたい知識を解説しました。

◆2013年 12月号

特集

産科超音波をよんでみよう

11月号

懸賞論文「私を変えたお産」受賞作発表

10月号

産後ケアを始めましょう

9月号

高齢妊娠・出産を支える

8月号

実習、どうしていますか？ 臨床・教育それぞれの立場から

7月号

いま知りたい！母子感染対策 トキソプラズマ、サイトメガロウイルスを中心に

6月号

予防接種の最新知識 2013

バックナンバーのお取り扱いについて

① 2012年7月号以降の雑誌は、メッドブック(TEL:03-3817-5666)にて承ります。

② それ以前のものについてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。

株式会社東亜ブック 〒171-0014 東京都豊島区池袋4-13-4 TEL:03-3985-4701 FAX:03-3985-4703